

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 もく(木)の会 無垢の木のいえ

グループの名称 NPO法人 もく(木)の会 無垢の木のいえネットワーク

直近採択グループ番号 06-0284-0534

(グループ代表者)

代表者名 小比賀 智子 代表者印
代表者所属先 ZERO&NiS一級建築士事務所
代表者所在地 大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町4-301
代表者電話番号 072-257-8887

(グループ事務局)

事務局事業者名 特定非営利活動法人もくの会
事務局担当者名 安田 里美 印
事務局郵便番号 559-0034
事務局所在地 大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟11
事務局電話番号 06-6615-5117
事務局FAX 06-6671-2135
事務局担当者E-mail satomi-moku@globe.ocn.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	もく(木)の会 無垢の木のいえ
2. グループの名称(必須)	NPO法人 もく(木)の会 無垢の木のいえネットワーク
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0284-0534
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	関西一円
5. 結成年(必須)	1999 年
6. グループ代表者名(必須)	小比賀 智子
7. グループ代表者の所属先(必須)	ZERO&NIS一級建築士事務所
8. グループ代表者所在地(必須)	大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町4-301
9. グループ代表者電話番号(必須)	072-257-8887
10. グループ事務局事業者名(必須)	特定非営利活動法人もくの会
11. グループ事務局担当者名(必須)	安田 里美
12. グループ事務局郵便番号(必須)	559-0034
13. グループ事務局所在地(必須)	大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC ITM棟11階 エイジレスL
14. グループ事務局電話番号(必須)	06-6615-5117
15. グループ事務局FAX番号(必須)	06-6671-2135
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	satomi-moku@globe.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	1	
V. 設計	7	
VI. 施工	5	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	1	

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)	国内・国外		
			番号記入欄		
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	3	国内	
	<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材	3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材	2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材	2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材	4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材	4	国外	
	奈良県産材	奈良県	奈良県産材証明制度	1	国内
	大阪府産材	大阪府	おおさか材認証制度	1	国内
	京都府産材	京都府	京都府産材認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)					戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)			戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)					戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)		原則は請負契約を締結した順に配分し、重なった場合は未経験工務店を優先する							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) もく(木)の会 無垢の木はいえ	(地域型住宅供給対象地域) 関西一円
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) NPO法人 もく(木)の会 無垢の木はいえネットワーク	(結成年) 1999 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0284-0534	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・内装材は木材・自然素材・自然系塗料を使用し、安全性の高い室内空気環境性能を目指す ・品質の良い地域材を使用した耐震性能 ・地域の気候・風土に合った躯体断熱性能と日射遮蔽性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・在来軸組工法で、構造材は50%以上に地域材を使用する ・樹種は土台：桧、柱：杉または桧、梁・桁：杉または地松 ・内装材は50㎡以上に国産の無垢材を使用し、その他漆喰・和紙などの自然素材を出来るだけ使用する ・出来るだけ合板を使わず、接着剤も体に安全なものを必要最低限使用	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	都市密集地においては景観の規制はないが、空地や緑地を計画し周辺環境に配慮する 伝統的な街並みで景観規制がかかる地域においては、木造住宅の表情を活かし、ガイドラインへ適合させる。	◎
④①～③の背景	・関西圏は人口が多く建物が密集しているため住宅規模が限定されることが多い。そのため、隣家と接近することが多く、どうしても冷暖房を機械に頼ることが多い。また、交通量が多く排気ガス等の影響で空気環境が劣悪な地域である。阪神大震災による耐震性能への関心も高い ・関西には吉野材を筆頭に良質の杉・桧を供給してきた長い歴史があり、現在も山には伐甸を迎えた材積が多くある ・関西圏には、都市密集地と京都・奈良に代表される古都がある	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域の光・風の色を活かしたパッシブな設計を取り入れる	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材は4寸角・4寸幅以上	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 樹種は土台：桧、柱：杉または桧、梁・桁：杉または地松	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内装材は50㎡以上に国産の無垢材	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で構造材の標準単価表を作成し、効率的な積算を実行する	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 進行中の物件ごとに、月1回、設計事務所を中心にグループ内で生産過程における内容を共有化し、効率化・合理化のチェックを行う会議を持つ	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が原木供給者から地域工務店までの連携の中心にあり、情報を集約・提供する立場に位置づけられる 事務局を中心に必要に応じて情報を取得できる体制をとる	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の認定要件及び低炭素住宅の認定要件の勉強会を開く 着工が決定した工務店には定期的に設計事務所より打ち合わせと確認を行うものとする。 その蓄積によって、未経験工務店が長期優良住宅建築のための知識・技術を会得することを目指す	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基礎配筋、上棟時、断熱施工後の検査記録を事務局に提出し、グループ内で確認する。検査記録は事務局が保管する	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で標準的な施工費用を設定し、設計事務所が見積書の妥当性をチェックする。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記の検査項目に加え、室内空気環境の測定をする	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	Cの項目はグループ全体ではなく、各構成員が各会社の方針に従って社会保険に加入したり安全及び健康の確保を行っている	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) もく(木)の会 無垢の木のいえ	(地域型住宅供給対象地域) 関西一円
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) NPO法人 もく(木)の会 無垢の木のいえネットワーク	(結成年) 1999 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0284-0534	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積履歴情報の	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループが作成した「無垢の木のいえ 住まいの履歴書」に新築時の仕様などを記入する	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: もく(木)の会事務局に各物件の「無垢の木のいえ 住まいの履歴書」を保管する	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループが取り決めた年数にグループが決めた点検項目をチェックする	○
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 担当した建築士と工務店が補修が必要と認めた場合は補修を行う	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修を行った場合は「無垢の木のいえ 住まいの履歴書」に記載し、事務局に報告する	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 無垢の床やウッドデッキ、外壁などの塗装方法の勉強会を開催する	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: もく(木)の会が開発したキューブ型の収納キットを組み立てる体験会を行う	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月第4日曜日に開催している「木もちいCafé」で住宅相談を行う	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理検討委員会を設置し、担当の設計士と工務店が点検を行った後、気づいた点を委員会に報告する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会の報告事項を事務局が保管する	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「無垢の木のいえ 住まいの履歴書」の記録を元にグループのメンバーがメンテナンス等を引き継ぐ	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事例集を用いて勉強会を行う	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 独自開催はないが、他機関で行われる研修会の参加を促す	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月1回、担当設計者から工事の進捗状況を報告	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 月1回の会議で担当設計者からの報告をチェックする	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: これまで使用した木材のサイズを共有化する	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネに資する設備の供給会社の担当者を招き、製品の勉強会を開く	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 使用頻度の高いサイズの木材を常備する	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 2
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 他機関が開催する省エネ講習会の情報を提供する	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) もく(木)の会 無垢の木のいえ	(地域型住宅供給対象地域) 関西一円																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) NPO法人 もく(木)の会 無垢の木のいえネットワーク	(結成年) 1999 年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0284-0534																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a	地域材利用に関する																									
①	共通 ルール(必須)	主要構造材は4寸角、4寸幅以上としその50%以上に地域材を使用する																								
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上																								
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	枠材、廻縁等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input checked="" type="checkbox"/> 使用していない	<input type="checkbox"/> 使用している																							
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明																									
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が、年に2回、グループ内の製材所より在庫を確認する																								
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が、年に2回、グループ内の製材所の価格情報を調査する																								
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 6枚																								
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 15坪																								
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 2枚																								
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 2枚																								
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和紙や漆喰などの自然素材を取り入れる																								
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 欄間などのデザインを住まいに取り入れる																								
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の街の景観に寄与するようなデザイン要素(格子など)を取り入れる																								
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 江戸時代の大阪の街並みを再現した大阪市立「くらしの今昔館」の見学会を行う																								
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 同上																								
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 置き和室を開発したので、それを積極的に取り入れる																								
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。																									
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
東日本大震災の復興に資する取組																										
平成28年熊本地震の復興に資する取組																										

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) もく(木)の会 無垢の木のいえ	(地域型住宅供給対象地域) 関西一円
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) NPO法人 もく(木)の会 無垢の木のいえネットワーク	(結成年) 1999 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0284-0534	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

定量的評価項目 (必須項目)

○省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量(家電等のエネルギー消費量を除く)が△10%以上となること。(※)

省エネ法の省エネ基準 低炭素基準 10%

(戸建住宅イメージ)

※省エネルギー法に基づく省エネルギー基準と同等以上の断熱性能を確保することを要件とする。

選択的項目

省エネルギー性に関する基準では考慮されない、以下に掲げる低炭素化に資する措置等のうち、一定以上を講じていること。

○HEMSの導入

エネルギー使用量の「見える化」などにより居住者の低炭素化に資する行動を促進する取組を行っている。

○節水対策

節水型機器の採用や雨水の利用など節水に資する取組を行っている。

○木材の利用

木材などの低炭素化に資する材料を利用している。

○ヒートアイランド対策

敷地や屋上、壁面の緑化などヒートアイランド抑制に資する取組を行っている。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。